

平成28年5月18日

各報道機関 御中

山梨大学医学部附属病院・新病棟で初めての多数の負傷者受入れ訓練を実施
～基幹災害支援病院として大規模災害時における対応を再確認～

山梨大学医学部附属病院は、甲府南消防署、県内医療機関、関係自治体や周辺の自治会の皆様のご協力のもと、山梨県の基幹災害支援病院として、関東・東海地区で発生が予想される巨大地震等の大規模災害を想定した実行性のある防災訓練（傷病者の受入れ、トリアージ等）を毎年継続的に実施しています。今回は、昨年12月末の新病棟の開院後、初めてのトリアージ訓練となります。

トリアージとは、大規模災害等で一時に多数の負傷者を受け入れる場合、限られた医療資源でできるだけ多くの人を助けるため、重症度により負傷者の搬送や治療の優先順位をつける（重症度別に黒・赤・黄・緑に分類する）ことを言います。

当日は、午前8時50分に静岡市付近を震源とするマグニチュード8の地震により中央市で震度6弱の揺れを観測した状況で、県南西部を中心に家屋倒壊、火災、交通事故等により多数の傷病者が発生した想定で行います。

来院する傷病者に対してトリアージを行い、各治療場所に誘導し模擬治療を行い、症状に応じ帰宅・入院・転院等の判断を行うなど実際の負傷者受入れの流れの確認を行います。また、訓練終了後には、外部の参加機関から講評を受けるとともに改善策を検討する反省会を臨床講義棟で実施します。

本学附属病院は、このたびの熊本地震に医療救護班を3班（15名）派遣し、県外の医療機関と協働で被災地内の医療救護活動に従事しました。今回は、これまでのトリアージ訓練とこの熊本での活動の教訓も踏まえ、「みんなで考えて行動する参加型トリアージー適確な判断ー」をテーマとして、地域の関係機関及び外部DMAT（災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム）と連携しつつ、各ゾーンで職員各自が迅速な情報伝達と的確な判断による行動を実践することを目指します。

つきましては、当日の取材について、よろしくお願いたします。

記

日時：平成28年5月21日（土）午前8時30分～12時00分頃（雨天決行）
場所：山梨大学医学部附属病院外来診療棟 他（山梨県中央市下河東1110）
参加機関：（院外）甲府南消防署、山梨県、甲府市、中央市、他医療機関 自治会 他
（院内）各診療科、各講座、病院各部（室）、事務部、医学科・看護学科学学生 他

※ 実施訓練の詳細については、別紙もご参照ください。

<問い合わせ先・広報担当>

（問い合わせ先）

山梨大学医学域管理課総務・予算・資産グループ 萩原
TEL：055-273-9614

（広報担当）

山梨大学総務部広報企画室
TEL：055-220-8006 FAX：055-220-8799

E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

平成28年度山梨大学医学部附属病院防災トリアージ訓練実施計画

1 はじめに

本院は、基幹災害支援病院として、関東・東海地区に発生が予想される巨大地震を起因とする大規模災害発生時に職員が適確に対応できるよう、実行性のある防災トリアージ訓練を継続的に実施しているなかで、県内他機関及び周辺自治会の多くの方々にもご参加、ご協力いただき、本院と県内関係機関との連携を重視するとともに周辺自治会とも一体となり、自助・共助できるように訓練を実施したいと考えております。

2 目的

本年度の防災トリアージ訓練は、安全確保、傷病者の受け入れ、トリアージの実施、治療への対応、並びに外部機関及び外部DMATとの連携を図ったうえで、「みんなで考えて行動する参加型トリアージ訓練version2 ー適確な判断ー」をキーワードとして、各ゾーンでの行動、本部への報告、本部からの情報伝達を各自が適確に判断して実行することを目指します。

3 実施日時・場所

平成28年5月21日（土）8:30～12:00頃（雨天決行）

山梨大学医学部附属病院外来診療棟玄関ホール、新病棟ピロティ、立体駐車場 ほか

4 実施概要

- ①午前8時50分に静岡市付近を震源とするマグニチュード8の地震が発生し、中央市は震度6弱の揺れを観測した状況で、県南西部を中心に家屋の倒壊、火災、交通事故等により多数の傷病者が発生したと想定する。
※医学部キャンパス職員及び学生に安否確認の一斉メールを配信する。
- ②職員は、本院の被災状況を確認し、病棟の安全を確保する。
- ③医学部キャンパス防災・災害対策マニュアルに基づき、防災・災害対策本部の設置、職員の召集及び各班への連絡等を行い、職員は、各部署のリーダーの指示に従い、速やかに傷病者の受け入れができるよう準備する。
- ④来院する患者に対し、病院玄関においてタグを使用してトリアージを行い、各治療ゾーンに誘導する。
- ⑤各治療ゾーンで2次トリアージを行い、症状に応じ、帰宅、入院または転院の指示を出す。
- ⑥訓練終了後、臨床講義棟大講義室で反省会を実施する。

5 スケジュール

時刻	内容	場所
8:00, 8:35	訓練予告放送	
8:50~	緊急地震速報、地震発生の非常放送	
非常放送直後	暫定本部の設置、病院の被災状況の確認・伝達	防災センター
8:51	職員・学生に安否確認メール配信訓練	
8:55	甲府南消防署の傷病者受入要請を受報	
8:56~	防災・災害対策本部の設置、	管理棟 3階大会議室
9:05~	震源・地震規模及び安否・病院の被災状況確認・伝達	
9:15~	前線医療本部の設置、患者受入宣言	病院玄関ホール
9:17~	各ゾーンの設置及び職員配置	病院玄関ホールほか※
9:25~	外部傷病者受入決定、甲府南消防署へ受入開始連絡	
9:26~	傷病者受入対応（トリアージ、第2次トリアージ開始）	病院玄関ホールほか※
10:00頃	震度4地震発生の非常放送、余震注意放送	
10:26頃	訓練終了	
訓練終了後	ゾーン毎に反省会	病院玄関ホールほか※
11:15	閉会式及び反省会（訓練参加者全員）	臨床講義棟

※ 各ゾーンの配置場所

トリアージゾーン；病院玄関

緑ゾーン（軽症患者）；立体駐車場

黄ゾーン（中等症患者）；病院玄関ホール

赤ゾーン（重症患者）；新病棟救急外来入口（ピロティー）

黒ゾーン（死亡者）；病院玄関脇

6 参加依頼する県内関係機関等及び本院参加部署（者）

県内関係機関等：甲府南消防署、山梨県、甲府市、中央市、他医療機関、自治会等

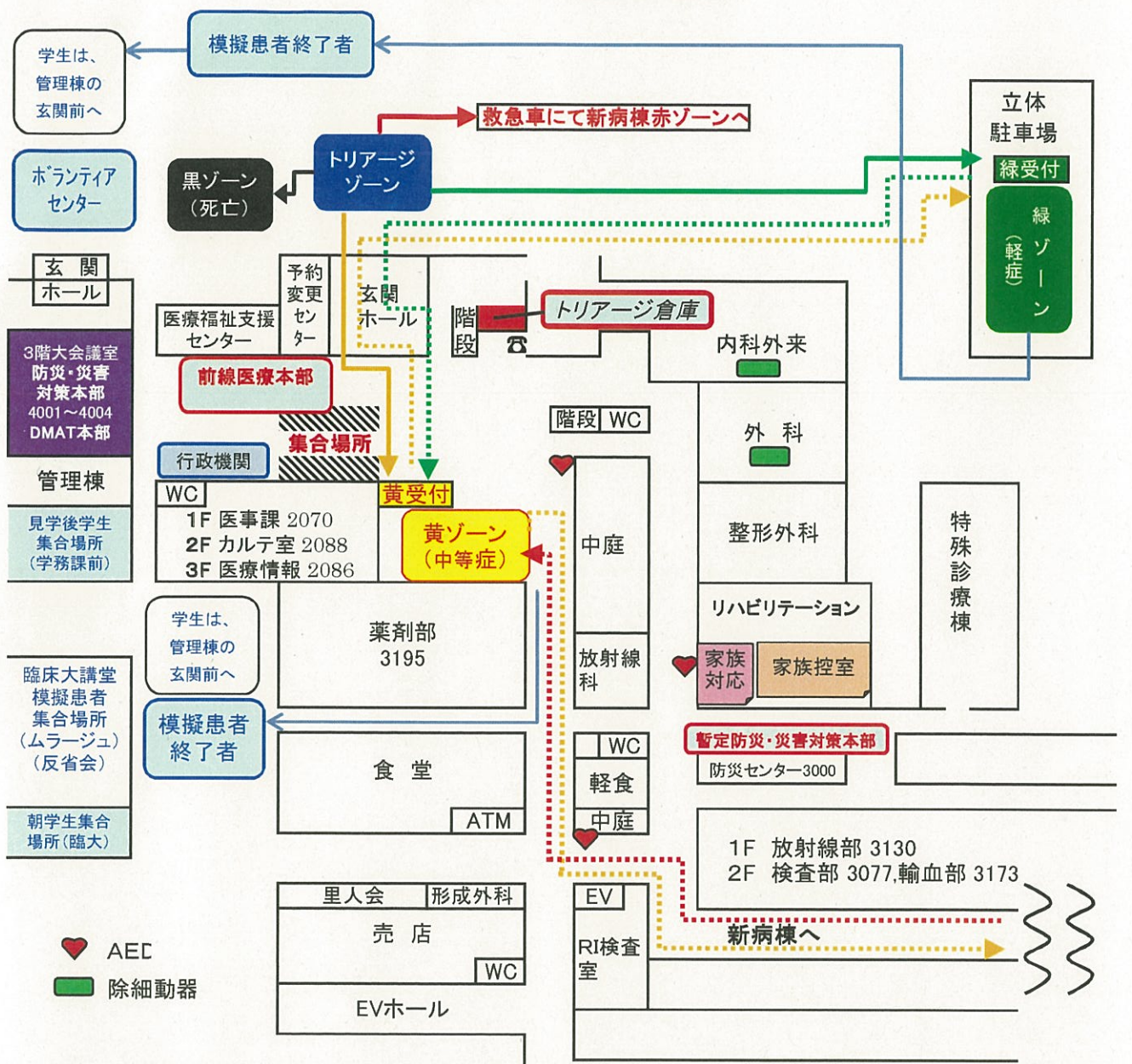
本院：各診療科、各講座、病院各部(室)、事務局、医学科・看護学科学生、他

※外部の参加機関から、訓練終了後講評を受ける。（予定）

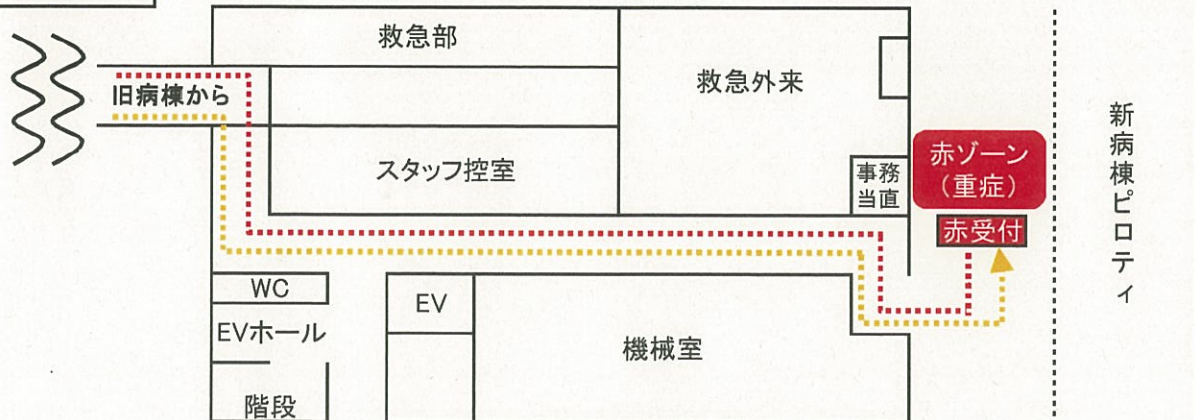
参加者数及び担当（27.5.16現在）

		本部・治療ゾーン	DMAT隊員	傷病者・付添役	見学・ボランティア	計
本院	職員	246	8	40	8	302
	学生	9		119	65	193
他機関	行政機関	6			4	10
	病院	15	4		52	71
	自治会、福祉協議会等			28		28
計		276	12	187	129	604

トリアージ関係配置図



新病棟



トリアージ訓練実施場所

